

青北進路通信

発行日：2023年10月2日(月)

発行元：青森北高校進路指導部

第4号

進学 大学入学共通テスト 111名が出願

9月5日に「令和6年度大学入学共通テスト」を受験する3年生を対象に、出願方法や試験に関する説明会を行いました。かつては「センター試験」と呼ばれていたもので、大学進学を目指す人は、まずこの試験を受けることになります。この試験の出願は、学校単位でまとめて行い、試験日は、令和6年1月13日(土)・14日(日)の二日間です。3年生の進学希望者のうち、総合型選抜、学校推薦型選抜を受ける人は、9月から12月にかけての学習の追い込みに入る最も大切な時期に、同時に面接や小論文の対策を進めなければなりません。結果によっては一般選抜に挑戦することになるわけですから、両立できる強い気持ちが必要です。がんばりましょう。



覚えておこう！共通テスト出願時のポイント

1、2年生のみなさんは、この時期に出願すると知って、意外と早いという印象を持ちませんでしたか？今回紹介したとおり、共通テストの出願は、総合型や学校推薦型の受験前であり、結果が出る前に行わなければなりません。つまり、総合型・学校推薦型の受験を中心に考えている人も「一般受験になったらどうするか」を9月までに決めておく必要があるということです。以下に、共通テストに関する注意点や基礎知識をまとめたので、意識して志望校調べや受験対策を行っていきましょう。

ポイント① 受験する教科、科目数は、出願時に決めておかなければならない。

一般受験の際に、何教科、何科目が必要になるかは、各学校、学部、学科ごとに細かく指定されています。ですから、受験予定の学校がどう指定しているのか、詳しく調べておかなければなりません。その際、第一志望だけでなく、思うように点数がとれなかったらどうするかについてもあらかじめ考え、第二、第三志望まで想定しておかないと、「受験したいのに、受験資格がない」ということとなります。早くから教科や科目を絞ってしまうと、可能性を狭めてしまうことがあることを念頭において、慎重に決めなければなりません。

ポイント② 国公立一般選抜の場合、どの学校を受験するかは、共通テストが終わってから、自己採点の点数を見て決める。成績通知は4月以降でなければ届かない。

目標とする学校の合格ラインに届いたかどうかは、自己採点結果を基にデータを確認して検討します。つまり、正確に自己採点できなければ、将来に関わる重大な判断が正しくできないということです。2年生から始まる共通テスト型のマーク式模擬試験では「何点取れるか」だけでなく「自己採点と実際の点数がピッタリ合っているか」も意識しましょう。ふだんからしっかりできなければ、本番だけうまくいくはずがありません。

ポイント③ 共通テストですべてが決まるわけではない。

多くの国公立大学では、共通テストの点数と個別学力試験(いわゆる二次試験にあたるもの)の点数の合計点で可否の判定を行います。その比率や試験内容は学校によって様々です。共通テストがA判定でも個別試験で逆転されたり、共通テストが悪かったけれども、得意教科で挽回し合格を勝ち取ったりするケースもあります。「その学校の受験に自分の強みを生かすことができるかどうか」も志望校選びの重要な視点です。受験パターンが自分に合わない場合は、同じ内容が勉強できる別の学校も検討し、比較してみるといいでしょう。

ポイント④ 私立大学入試には「共通テスト利用」と「個別の試験利用」の二通りがある。

ほとんどの私立大学は、「共通テストの点数をもとに判定する試験」と「新たに受けに行く必要がある試験」の二種類を設定しています。つまり、チャンスも複数回あるわけですが、共通テスト対策は講習などで行っていきますし、共通テスト利用入試ならば、わざわざ受験に出かける必要がなく、受験費用が抑えられるメリットもあります。

2025年度入試(現1、2年生向け)から共通テストが変わります

新教育課程で学ぶ1、2年生向けの受験情報が徐々に明らかになってきています。出題教科・科目が右記のように再編され、試験時間や出題内容の変更もあります。中でも注意が必要なのは「地理歴史」「公民」の選択の組み合わせ方法と、新設される「情報」がどのように扱われるかです。河合塾のデータ(2023年8月末現在)によると、国立大学では97%が「必須」としていますが、公立大学では「必須」と「他教科との選択」がほぼ半々に分かれ「利用しない」も16%を占めます。また利用する場合、配点比が高い(全体の10%を上回る)国公立大は8%であり少数派という状況です。志望校の動向をチェックしておきましょう。

教科	出題科目	試験時間	配点	
地理歴史	「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」	6科目から最大2科目選択 (解答時間120分)	1科目60分 2科目130分	1科目100点
公民	「地理総合、歴史総合、公共」 「公共、倫理」 「公共、政治・経済」	公民2科目の組み合わせ、「地理総合、歴史総合、公共」で選択した科目と同一名称を含む科目の組み合わせ不可		
国語	「国語」	90分	200点	
外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	英語リーディング、その他外国語 80分 英語リスニング 60分 (解答時間30分)	200点 ※英語はリーディング100点、リスニング100点	

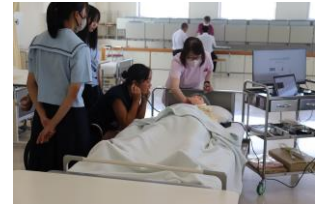
教科	出題科目	試験時間	配点	
理科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	5科目から最大2科目選択 (解答時間120分)	1科目60分 2科目130分	1科目100点
数学	①「数学I、数学A」 ②「数学II、数学B、数学C」*	1科目選択	70分	100点
情報	「情報I」	新設	60分	100点

「進路の手引き」p41～もご覧ください

進路関連行事報告

1学年オープンキャンパス 8月8日(火)

普通科は弘前大学、スポーツ学科は弘前医療福祉大学及び短期大学部に分け、各学校の説明や講義に参加してきました。実際の大学の雰囲気を感じ、将来の進路について考える良い機会になったと思います。これをきっかけに、3年生になる前に、複数の学校のオープンキャンパスに参加し、比較してみましょう。3年生の6月には、総合型、学校推薦型受験を希望する人を集約し、対策のための準備に入りますので、その時点で志望先が明確であることが理想です。「なんとなく」「親がいいんじゃないかと言っていたので」などの理由で、よく検討せずに志望先を決めると、いざ志望理由書を書き始めてから、「自分のやりたいことがこの学校にはない」とか、「なぜこの学校がいいのか、説得力のある理由が書けない」など、非常に苦勞し後悔することになります。1~2年のうちに、大学の特徴や研究内容、教授陣などについて情報を集め、比較・検討しておきましょう。



1・2学年職業人講話 9月12日(火)

昨年度は2学年のみを対象としていましたが、今年度は1・2年生を対象に規模を拡大して実施しました。実際に働いている方々をお招きして、フューチャートークと題して各業種の魅力や将来性、求められる人物像などについて、座談会で具体的に聞いた後、製造業、サービス業、小売業、医療、福祉、保育、公務員など、21の講座に分かれ、体験型のガイダンスが行われました。実際に作業の一部を行わせてもらったり、制服を着せてもらったり...様々な工夫のおかげで、80分間の講座に、興味を持って楽しく参加できた様子でした。世の中には様々な仕事がありますが、実際にどんなことをしているのかについては、あまり知る機会がないですし、保護者や教員以外の大人と接する機会は少ないので、貴重な体験になりました。



消防士さんの装備を身に付けているところ。とても重かった・・・



【生徒のレポートから(抜粋)】

- ・私の夢と「接客」という仕事が共通していたので受講しました。接客のシミュレーションを通して、お客さんと直接お話をして感謝もらうことの嬉しさを感じて、今まで以上に夢を叶えたいという思いが強くなりました。
- ・今まで店長という職は「なんとなく偉い人」というイメージだったが、今回、どんな仕事をしていて、どういうことが店長になるため必要なのか、よくわかった。「マネジメント」「ニーズ・理念の浸透」「発想・実行力」が大切で、アルバイトの指導・教育なども行っている。
- ・理学療法(PT)と作業療法(OT)の違いについて詳しく聞き、患者さんの体の起こし方や服の脱ぎ着のさせかたを体験させてもらった。「失ったものを元に戻すのがPTの一番の役割」と学んで、今まで自分が思ってきたPTとは少し違う面もあるんだなと思った。

進路関連行事予定

進路関連行事報告

- 10月24日 3学年全統記述模試
- 10月27日~28日 1・2学年大学体験講座【本校会場】
- 10月28日 3学年ベネッセ・駿台共通テスト模試
- 10月28日 1学年進研記述模試
- 10月28日~29日 2学年進研記述模試
- *ラグビー花園予選決勝(全校応援)が重なった場合、変更になります
- 10月31日 1学年「オールあおもり進学相談フェア」【外部会場】
- 11月4日、11日 3学年土曜講習①②
- 11月18日~19日 3学年全統プレ



県主催のイベントで、1学年が参加します。県内の大学・短大・専修学校等の担当者から、直接説明を聞いたり、同時開催されている青森県職業体験フェアに参加することもできます。保護者の方も当日参加可能です。

【お知らせ】

11月10日、11日に予定していた「看護医療ガイダンス」は、講師の植松弘幸氏が先日逝去されたため、今年度は開催しないこととなりました。植松先生には6年に渡って毎年ご講演いただき、相談にもなっていたなど大変お世話になりました。ご冥福をお祈りいたします。

卒業生の活躍 ~ 青森市のために活躍する先輩

本校のスローガン 新時代 北高 is shining
一人一人が輝くために

今回は、令和3年度卒業生で青森市役所に勤務している奥川恋寧(おくかわこね)さん。文化祭に遊びに来てくれた際に近況について聞き、在校生へのメッセージをお願いしました。在学中は生徒会に所属し、様々な行事で活躍しつつ、勉強熱心だった奥川さん。メッセージからもわかるとおり、今は市民のために使命感を持って働いています。とても頼もしい先輩ですね。



資産税課 奥川
写真は「広報あおもり」掲載時のもの

令和4年4月1日付で青森市役所に入庁し、税務部資産税課に配属となりました。青森市の固定資産税に関する業務を行っています。固定資産税の課税業務のほかにも、青森市のホームページの編集、直近では東北絆まつりに従事しました。市職員として感じたことは、当たり前のことですがどんなに小さな仕事であっても、必ず市民の生活に支えになるということです。固定資産税においては市の基幹税目であるため、安定した税収が望まれます。安定した税収は充実した市民サービスの提供に繋がるため、適正な課税を行えるよう努めて参りたいと思います。